

新しい防災気象情報について

伊勢原市自主防災リーダー養成研修会
横浜地方気象台

横浜地方気象台



- 警戒レベルについて
- 5月29日から始まった、新しい防災気象情報
- 台風第6号の概要
- 雨の傾向について
- 6月～8月の関東甲信地方の3か月予報
- 災害の事前の備えについて
- 参考



災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報

住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確な避難行動がとれるよう、避難情報や防災気象情報といった防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（注）
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 （気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

（注）避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

## 警戒レベル（3以上）は自治体が発表する情報

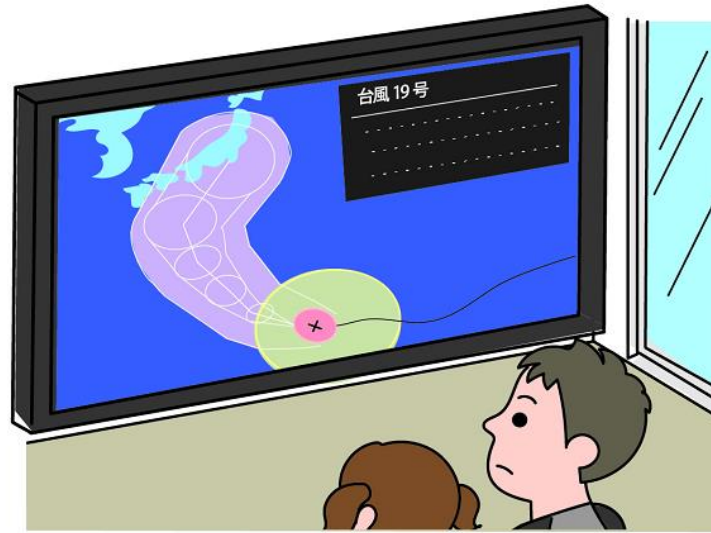


# 警戒レベル1：天気が悪くなるおそれ

## 皆さんに求められる行動

- 台風情報や天気予報を見る
- 防災グッズを確かめる
- 災害への心の準備

	大雨浸水 大雨特別警報 大雨特別警報	河川氾濫 土砂災害特別警報 土砂災害特別警報	土砂災害 土砂災害特別警報 土砂災害特別警報	高潮 高潮特別警報 高潮特別警報
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 河川氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
<警戒レベル4までの危険な場所から、おそれやすさ順に>				
4	レベル4 大雨危険情報	レベル4 河川氾濫危険情報	レベル4 土砂災害危険情報	レベル4 高潮危険情報
3	レベル3 大雨注意	レベル3 河川氾濫注意	レベル3 土砂災害注意	レベル3 高潮注意
2	レベル2 大雨注意	レベル2 河川氾濫注意	レベル2 土砂災害注意	レベル2 高潮注意
1	早期注意情報			



内閣府（防災情報のページ）の図等を一部使用

# 警戒レベル2：天気が悪くなってきた

## 皆さんに求められる行動

- 台風情報や天気予報を見る
- ハザードマップや避難場所を確かめる
- 避難のことを家の人と相談する

	大雨浸水 大雨浸水特別警戒	河川氾濫 土砂災害特別警戒	土砂災害 土砂災害特別警戒	高潮 高潮特別警戒
5	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒
<警戒レベル4までにも避難を要する可能性があります>				
4	レベル4 大雨色別警戒	レベル4 氾濫色別警戒	レベル4 土砂災害色別警戒	レベル4 高潮色別警戒
3	レベル3 大雨警戒	レベル3 氾濫警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
2	レベル2 大雨注意	レベル2 氾濫注意	レベル2 土砂災害注意	レベル2 高潮注意
1	早期注意情報			



# 警戒レベル3：災害のおそれ

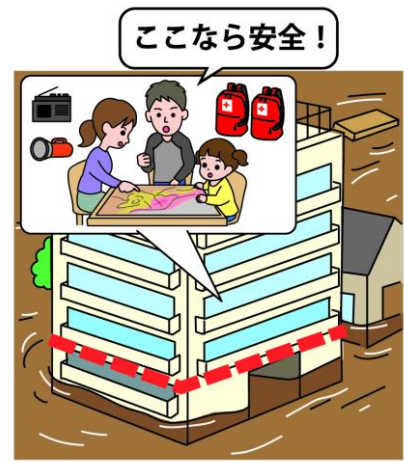
皆さんに求められる行動

- お年寄りや小さい子どもなど、避難に時間がかかる人は、避難を始める
- 避難する人がいたら手伝う

	大雨浸水 浸水の恐れ 大津波の恐れ	河川氾濫 浸水の恐れ 大津波の恐れ	土砂災害 浸水の恐れ 大津波の恐れ	高潮 浸水の恐れ 大津波の恐れ
5	レベル5 大津波特別警報	レベル5 冠水特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
<警報レベル4または5発効後、避難が困難な状況に陥る可能性がある>				
4	レベル4 大津波特別警報	レベル4 冠水特別警報	レベル4 土砂災害特別警報	レベル4 高潮特別警報
3	レベル3 大津波警報	レベル3 冠水警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 大津波注意報	レベル2 冠水注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報			



## 高齢者等避難



屋内安全確保  
上階に留まる（待避）

内閣府（防災情報のページ）の図等を一部使用

# 警戒レベル4：災害がせまっている

## 皆さんに求められる行動

- 危険な場所から全員避難する
- 避難していない人がいたら避難しようと呼びかける

	大雨浸水 感状が速やか に発生する可能性がある	河川氾濫 1. 感状が速やかに 発生する可能性がある	土砂災害 急傾斜地の崩壊が 発生する可能性がある	高潮 海水面上昇が 発生する可能性がある
5	レベル5 大被害が懸念	レベル5 大被害が懸念	レベル5 大被害が懸念	レベル5 大被害が懸念
<警戒レベル4までの気象情報所がお知らせ対象>				
4	レベル4 大被害が懸念	レベル4 大被害が懸念	レベル4 大被害が懸念	レベル4 大被害が懸念
3	レベル3 大被害が懸念	レベル3 大被害が懸念	レベル3 大被害が懸念	レベル3 大被害が懸念
2	レベル2 大被害が懸念	レベル2 大被害が懸念	レベル2 大被害が懸念	レベル2 大被害が懸念
1	早期注意情報			

## 避難指示



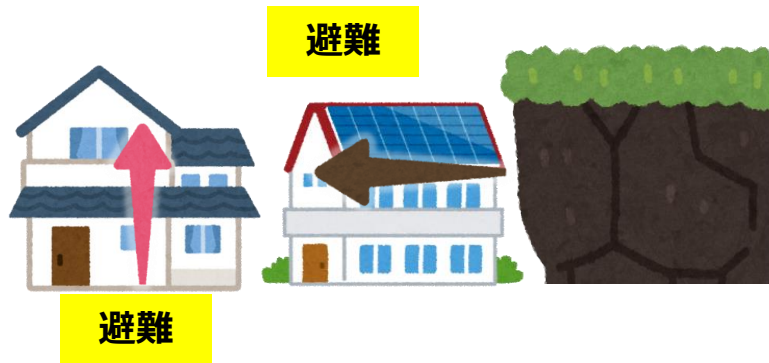
# 警戒レベル5 : もう災害が起こっている 起こっていてもおかしくない

## 皆さんに求められる行動

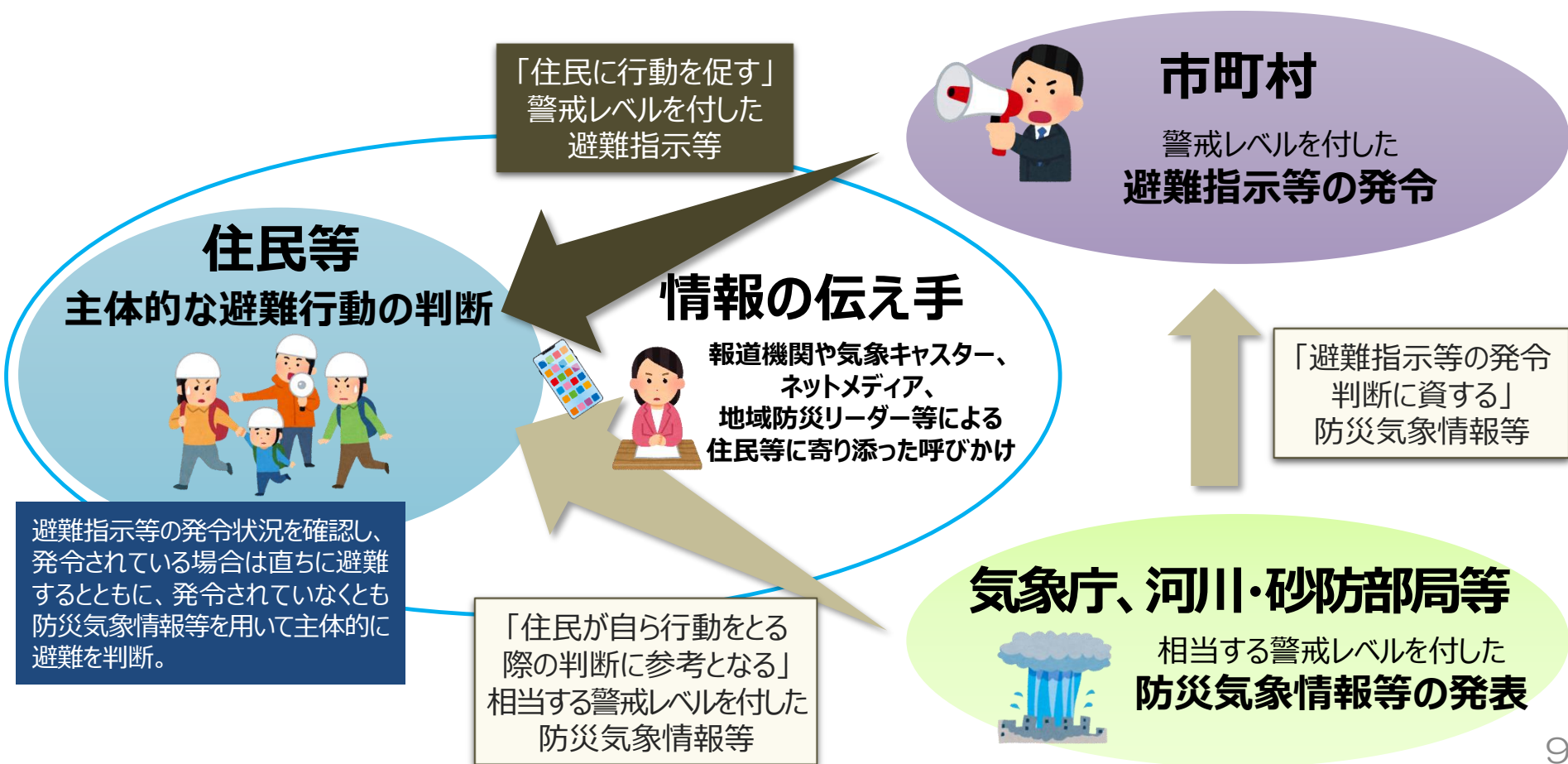
- 命を守る行動をとる
- 避難がもし間に合わなかったら、少しでも高い場所に移動したり、崖から離れる

	大雨洪水 大雨による 氾濫・浸水	河川氾濫 大雨による 氾濫・浸水	土砂災害 急激な土砂崩れ・ 土石流	高潮 暴風による 高潮・波浪
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
<警戒レベル4まで5段階で場所から避難を要する>				
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意報			

## 緊急安全確保



- どのような状況になり得るかを簡潔に伝え、とるべき対応の判断を支援
  - ・ 市町村の避難指情報の発令判断を支援
  - ・ 住民の主体的な避難行動への意識の醸成・向上



# 新しい防災気象情報（令和8年5月29日から運用開始）



- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

・市町村が避難情報を発令する4つの気象現象が対象  
 ・警戒レベルを付けて発表することで、とるべき行動が分かりやすくなるのが最大のポイント

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しないことに留意してください。

## 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

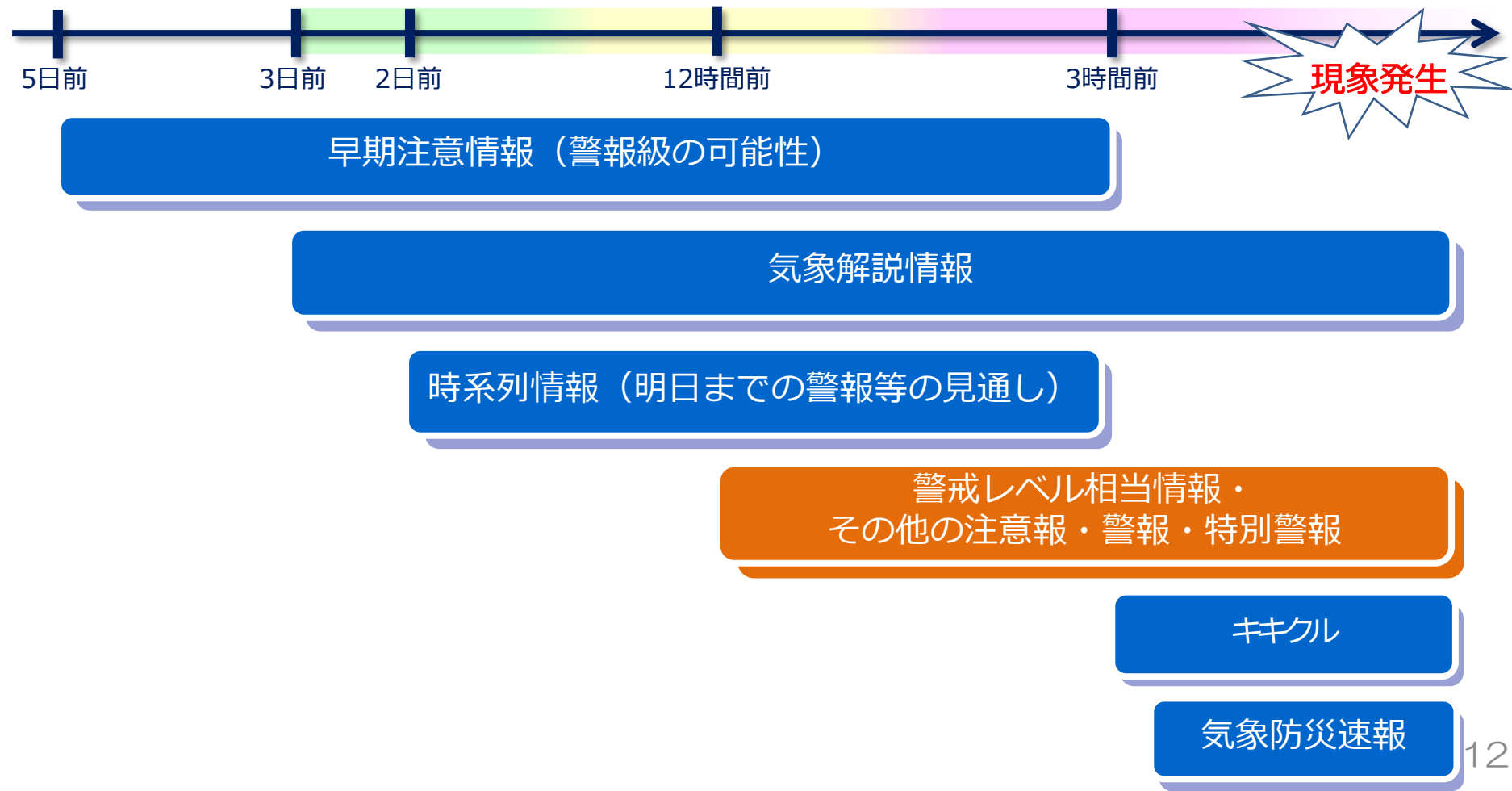
特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

# 段階的に発表される防災気象情報



- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。





- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表

## 早期注意情報（警報級の可能性）

神奈川県西部の早期注意情報（警報級の可能性）										
2026年06月02日17時 横浜地方気象台 発表										
西部では、3日までの期間内に、大雨、土砂災害、波浪警報を発表する可能性が高い。また、3日夕方までの期間内に、暴風（暴風雪）警報を発表する可能性がある。										
神奈川県西部	2日	3日			4日	5日	6日	7日		
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

## 時系列情報（明日までの警報等の見通し）

■ [高] ■ [中]

伊勢原市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）													
2026年06月02日21時10分発表													
伊勢原市	地域	2日		3日						4日	備考・関連す		
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18			18-21	21-24
1時間最大雨量 (mm)			10	15	20	50	50	10	0	0	0		
2.4時間最大雨量 (mm)				250									
大雨													
土砂災害													
強風 (m/s)			2	2	10	12	15	15	15	8	8		
6時間最大降雪量 (cm)	山地		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平地		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2.4時間最大降雪量 (cm)	山地			0									
	平地			0									
雪	山地												
雷	平地												竜巻、ひょう
融雪													
濃霧													
着氷													
着雪													

	災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
	危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
	警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
	注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

テレビでテロップ表示されるようなイメージの情報

## 気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)

### 現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

### 今後 (令和8年度出水期～)

気象防災速報 (記録的短時間大雨)

気象防災速報 (線状降水帯発生)

気象防災速報 (線状降水帯直前予測)

(R8運用開始)

気象防災速報 (短時間大雪)

気象防災速報 (竜巻注意/竜巻目撃)

## 気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)

テレビでキャスターが読み上げるようなイメージの情報

### 現状

線状降水帯半日前予測を記載した  
全般/地方/府県気象情報

全般台風情報(総合情報)

大雨に関する  
全般/地方/府県気象情報

### 今後 (令和8年度出水期～)

気象解説情報 (線状降水帯半日前予測)

気象解説情報 (台風第○号)

気象解説情報 (大雨)



## ■ 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

全般気象解説情報（線状降水帯半日前予測） 第5号  
令和8年06月02日23時03分 気象庁発表

（見出し）

関東甲信地方、東海地方、近畿地方、四国地方では、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

（情報タグ・対象地域）

線状降水帯予測 / 関東甲信地方 関東甲信地方 東海地方 近畿地方 四国地方

（本文）

〔気象現象の予想〕

線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性のある地域と期間は以下のとおりです。

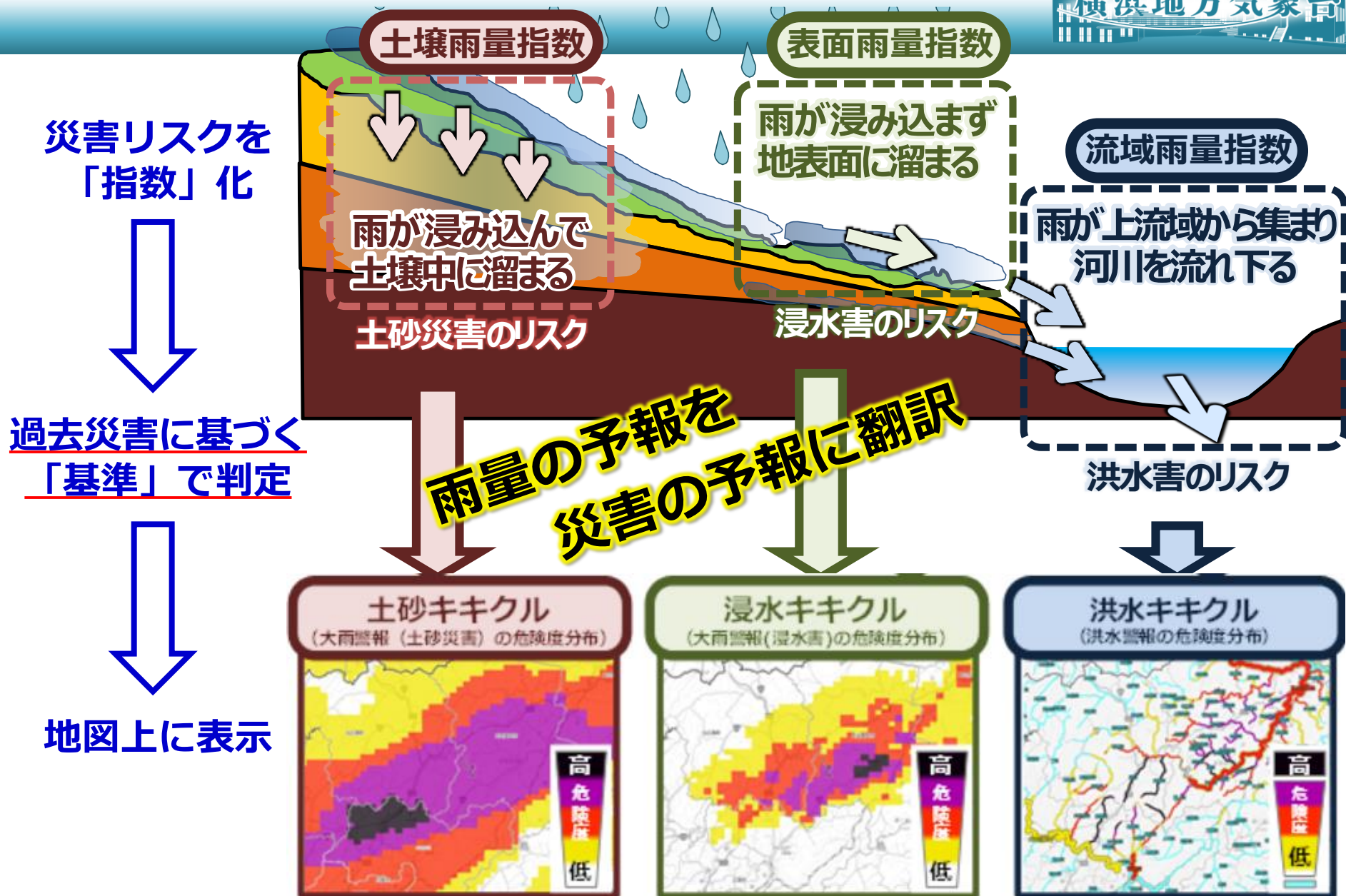
- |              |                  |
|--------------|------------------|
| （関東甲信地方）茨城県  | 3日朝から夕方にかけて      |
| （関東甲信地方）東京地方 | 3日明け方から昼過ぎにかけて   |
| （関東甲信地方）伊豆諸島 | 3日明け方から昼過ぎにかけて   |
| （関東甲信地方）神奈川県 | 3日明け方から昼過ぎにかけて   |
| （関東甲信地方）千葉県  | 3日明け方から夕方にかけて    |
| （関東甲信地方）山梨県  | 3日明け方から昼過ぎにかけて   |
| （東海地方）静岡県    | 3日明け方から昼前にかけて    |
| （東海地方）愛知県    | 3日未明から朝にかけて      |
| （東海地方）三重県    | 2日夜遅くから3日朝にかけて   |
| （近畿地方）奈良県    | 2日夜遅くから3日明け方にかけて |
| （近畿地方）和歌山県   | 2日夜遅くから3日明け方にかけて |
| （四国地方）徳島県    | 2日夜遅くから3日未明にかけて  |
| （四国地方）高知県    | 2日夜遅くから3日未明にかけて  |

〔補足事項〕

大雨に対する心構えを一段高めていただき、段階的に発表する防災気象情報やキキクル等の情報に留意してください。

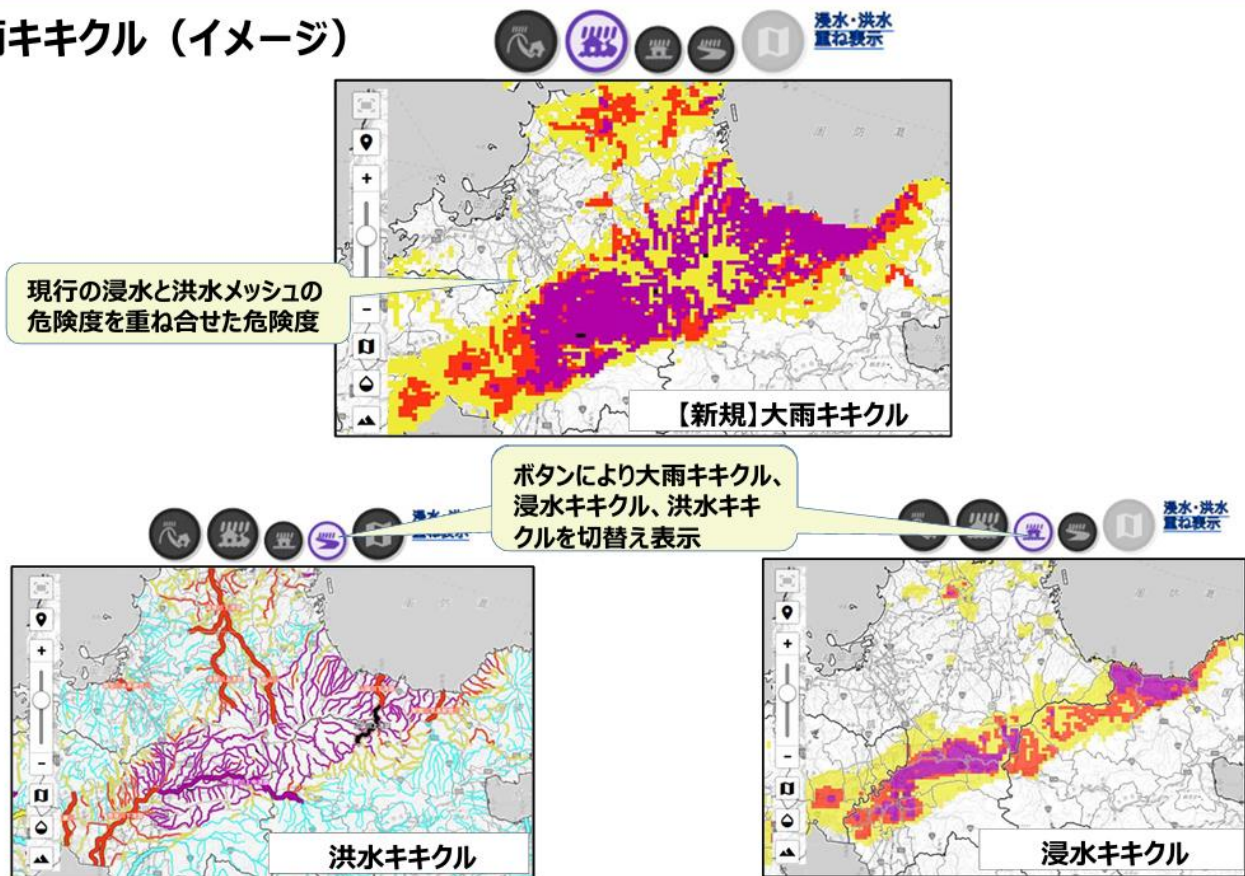
※変更予定のホームページのイメージ画面です。  
実際の気象状況や情報発表の結果を示すものではありません。

# キキクル



- 大雨に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて**大雨キキクル**として新規表示します。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

## 大雨キキクル（イメージ）

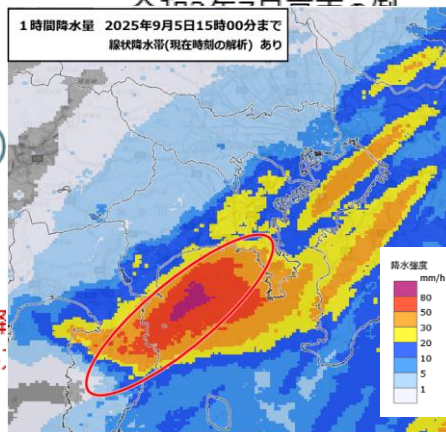


## 【線状降水帯とは】

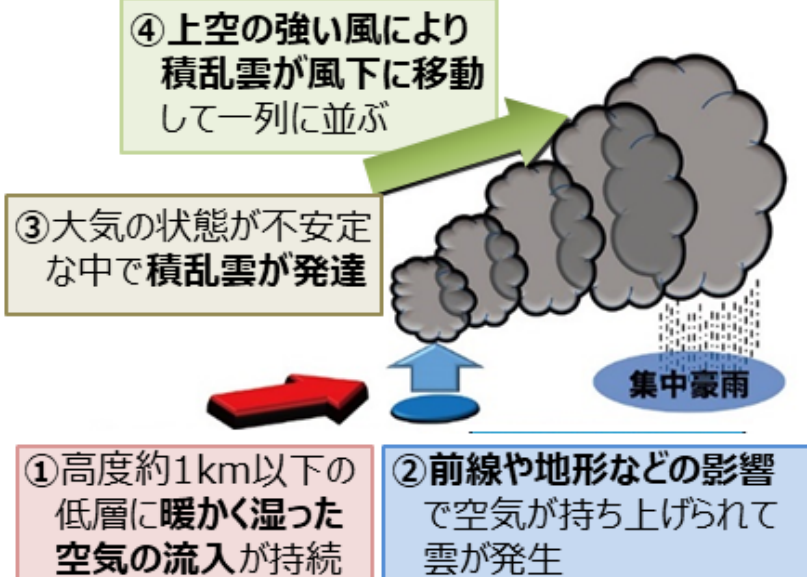
線状降水帯は、次々と発生した積乱雲により、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすもの。線状降水帯が発生すると、災害の危険性が高くなります。

### (線状降水帯が発生した最近の主な災害事例)

- ・平成26年8月豪雨 (広島)
- ・平成27年9月関東・東北豪雨
- ・平成29年7月九州北部豪雨
- ・平成30年7月豪雨 (西日本豪雨)
- ・令和2年7月豪雨
- ・令和3年 7-8月の大雨
- ・令和4年 台風第14号、15号
- ・令和5年 6-7月の大雨
- ・令和6年 台風第10号
- ・令和7年 8月の大雨



## 線状降水帯の模式図



※線状降水帯の発生・停滞・維持等のメカニズムには未解明な点が多い

## 線状降水帯に関する情報

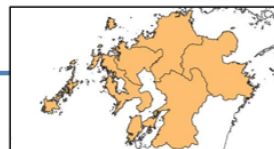
## 住民に求められる行動

線状降水帯  
発生の可能性あり

～半日程度前

### 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

内容：線状降水帯による大雨の  
半日程度前からの呼びかけ



呼びかけの対象府県

大雨に対する  
心構えを一段高め、  
避難準備等、  
災害に備える

線状降水帯  
となる可能性が  
高まる

～3時間前

### 気象防災速報（線状降水帯直前予測）

内容：線状降水帯となる危険性が高まった際に、  
発生の2～3時間前を目標にお知らせ



線状降水帯予測マップ

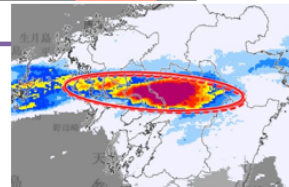
周辺状況や自治体  
の避難情報等もふ  
まえ、避難など適切  
な防災行動をとる

線状降水帯  
発生

30分前  
～現在

### 気象防災速報（線状降水帯発生）

内容：線状降水帯の発生をお知らせ



自治体からの避難  
情報や周辺状況を  
確認し、速やかに  
安全確保

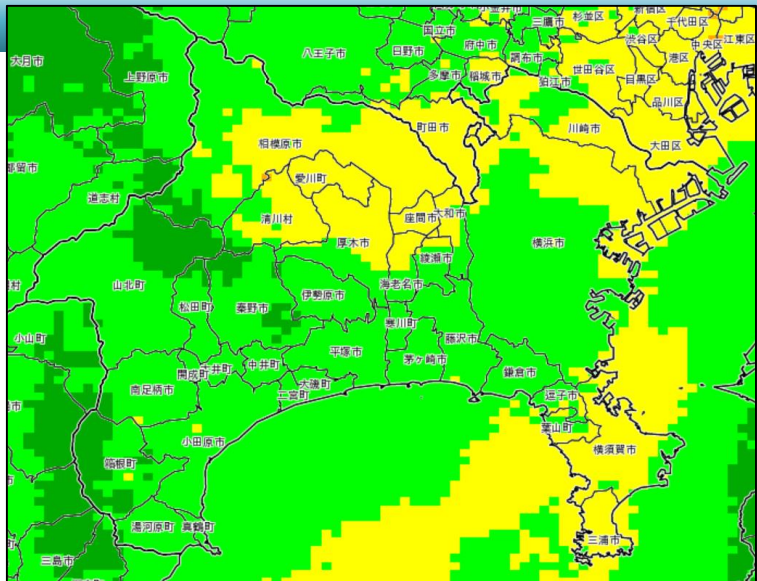
時間

令和8年 台風第6号

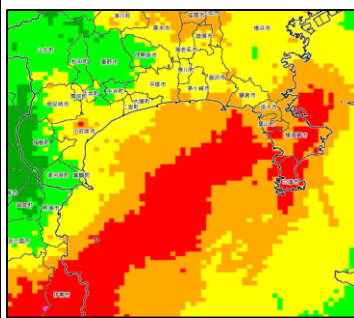
横浜地方気象台



# 台風第6号の概要



積算降水量分布図  
(解析雨量)  
(6月2日18時～  
3日18時)

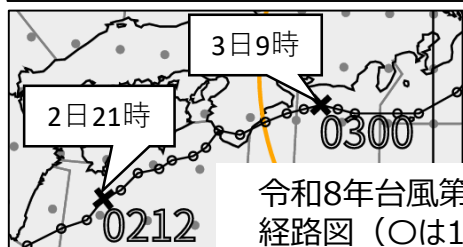


線状降水帯が発生した頃の  
3時間積算降水量分布図  
(6月3日5時30分～8時30分)

台風第6号は、6月2日夜には四国の南に進み、3日にかけて本州南岸を東北東に進んだ。台風の接近・通過に伴い、神奈川県では3日朝から昼前にかけて雨のピークとなり、東部では線状降水帯が発生し、非常に激しい雨の降る所があった。神奈川県内のアメダスによる観測では、3時間降水量が横浜で100ミリを観測するなど、海老名・平塚・日吉・三浦とともに6月の観測史上1位の値を更新した。総雨量（解析雨量）は広い範囲で100ミリを超え、多い所では150～200ミリに達した。5月29日から運用開始以降、県内で初めて大雨危険警報、土砂災害危険警報を発表する事例となった。

6月2日夕方発表の予想雨量（総雨量）  
東部200ミリ 西部200ミリ 箱根250ミリ

日別降水量および総降水量（ミリ）  
(6月2日00時～6月3日24時)

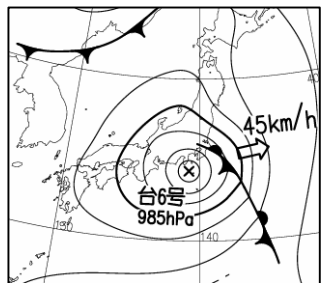


令和8年台風第6号  
経路図 (○は1時間  
ごとの位置)

解析雨量1時間降水最大値(ミリ)  
(6月3日00時～6月3日24時)

東部	
横浜・川崎	約60ミリ (3日09時30分)
湘南	約40ミリ (3日08時30分)
三浦半島	約60ミリ (3日08時30分)
西部	
相模原	約45ミリ (3日08時00分)
県央	約40ミリ (3日09時00分)
足柄上	約35ミリ (3日07時30分)
西湘	約45ミリ (3日08時00分)

地点名	2日	3日	総雨量
相模湖	5.5	114	119.5
相模原中央	4.5	145	149.5
日吉	4.5	147	151.5
丹沢湖	9	90	99
海老名	6.5	146	152.5
横浜	5	166	171
平塚	7	98.5	105.5
辻堂	5	143.5	148.5
箱根	12	134.5	146.5
小田原	7.5	98	105.5
三浦	6.0]	148	154.0]



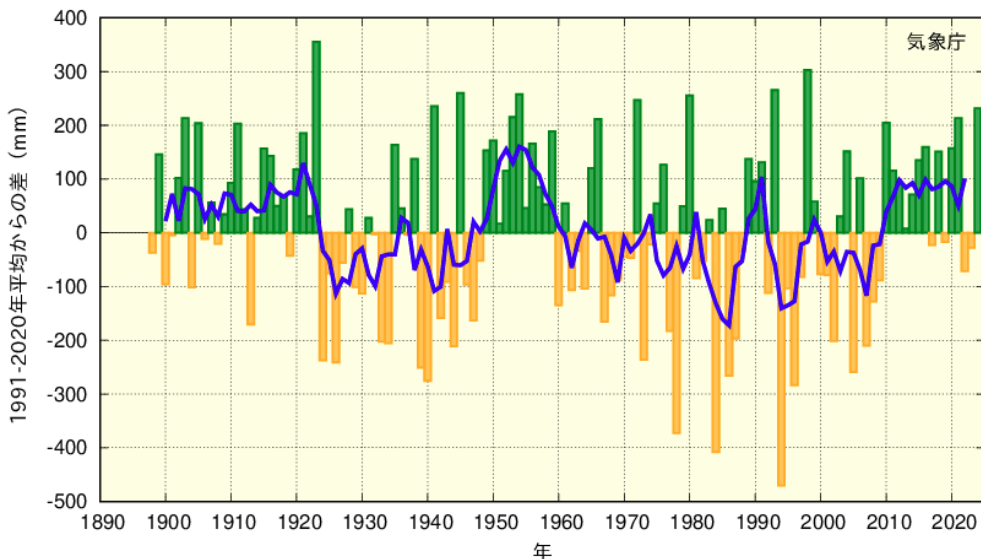
地上天気図 6月3日12時

# 雨の傾向について

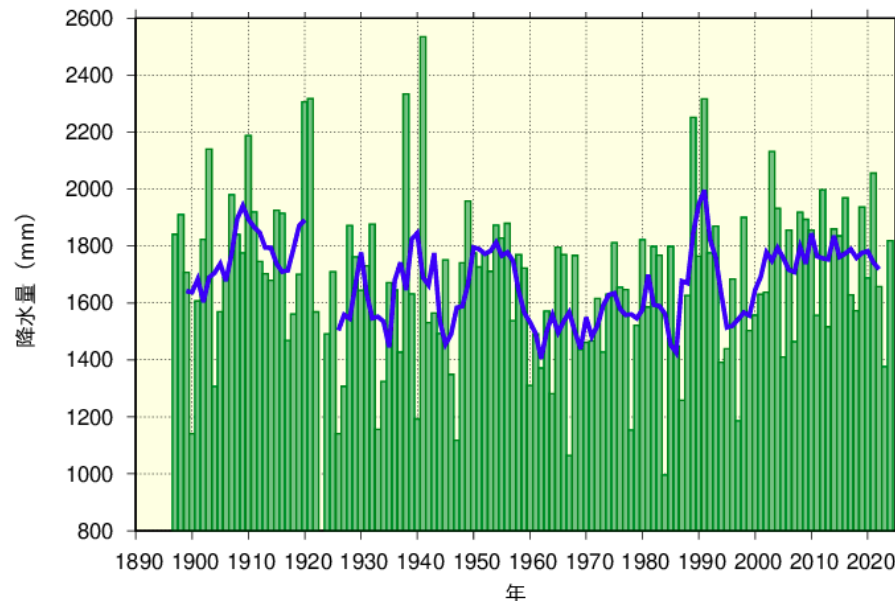
横浜地方気象台



## 日本（※）の年降水量偏差



## 横浜の年降水量の経年変化



（※）以下の51地点で計算  
旭川、網走、札幌、帯広、根室、寿都、秋田、宮古、山形、石巻、福島、伏木、長野、宇都宮、福井、高山、松本、前橋、熊谷、水戸、敦賀、岐阜、名古屋、飯田、甲府、津、浜松、東京、**横浜**、境、浜田、京都、彦根、下関、呉、神戸、大阪、和歌山、福岡、大分、長崎、熊本、鹿児島、宮崎、松山、多度津、高知、徳島、名瀬、石垣島、那覇

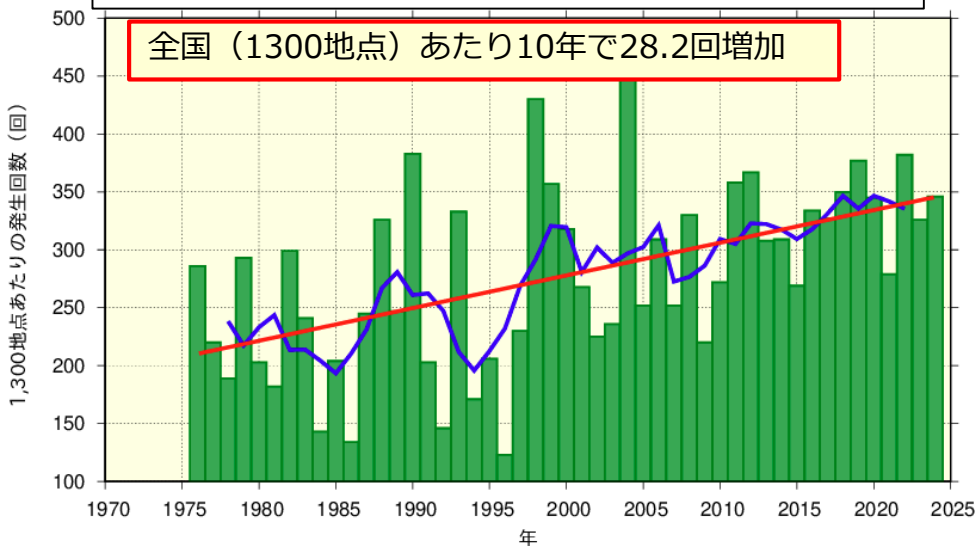
データはいずれも2024年まで

年々変動が大きく  
明瞭な増減傾向は  
みられない

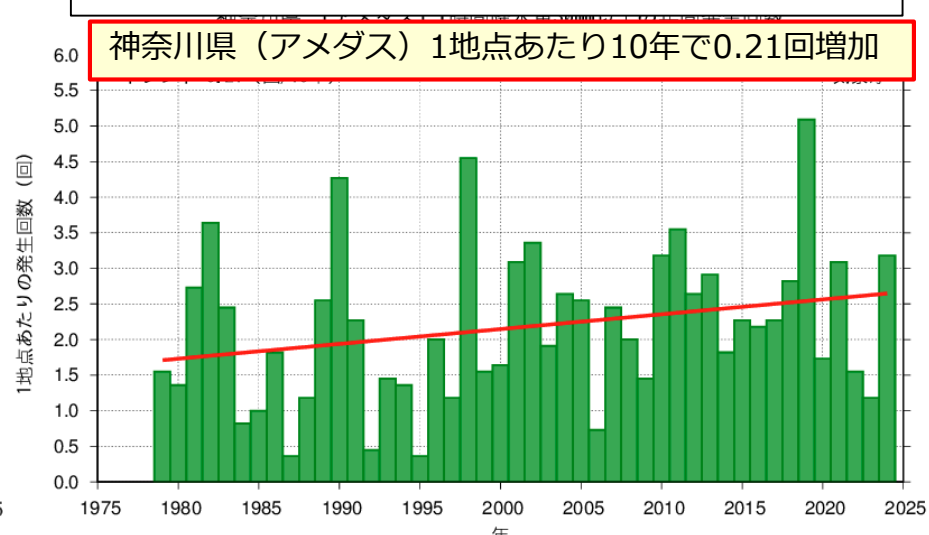


# 短時間強雨の年間回数推移

## 1時間降水量50mm以上の雨の年間回数 全国（アメダス地点）



## 1時間降水量30mm以上の雨の年間回数 神奈川県（アメダス地点）



神奈川県では、1時間降水量50mm以上の雨の有意な傾向は無し



1時間降水量50mm以上：滝のように降る雨

有意な増加がみられる



- ★：地方気象台
- ：地域気象観測所  
(気温、風向風速、降水量、日照時間)
- ▲：地域雨量観測所 (降水量)

県内アメダス：10地点



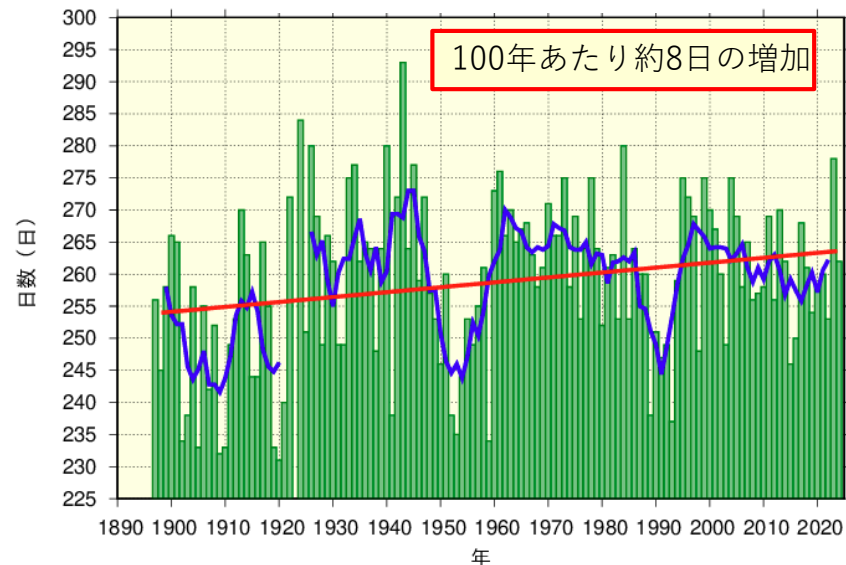
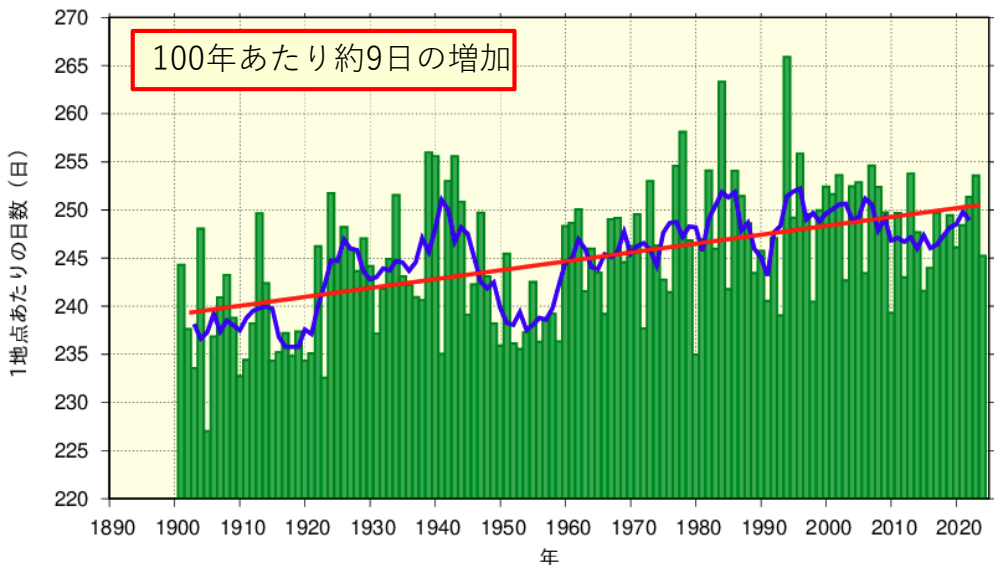
はれるん



その様子は？

## 日本（51地点）の日降水量1.0mm未満の年間日数

## 横浜の年間無降水日数



(※) 以下の51地点で計算

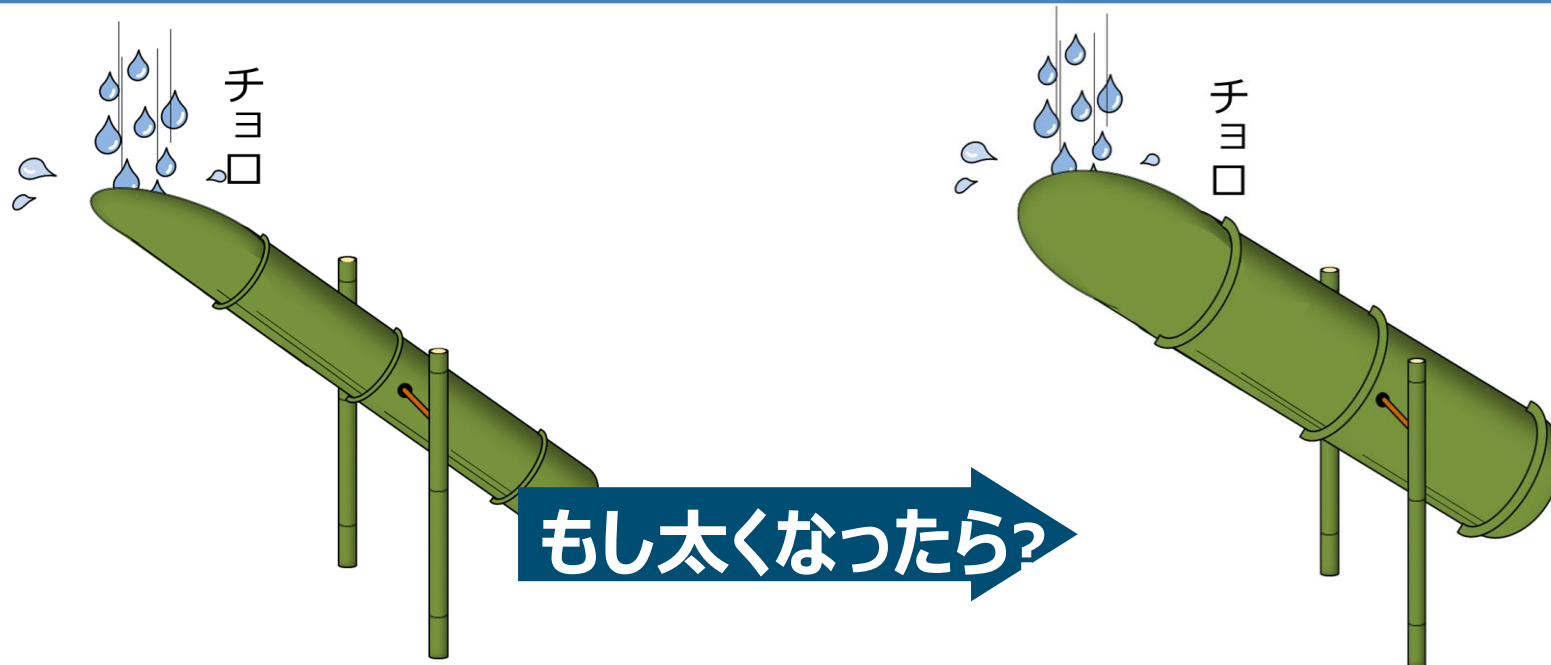
旭川、網走、札幌、帯広、根室、寿都、秋田、宮古、山形、石巻、福島、伏木、長野、宇都宮、福井、高山、松本、前橋、熊谷、水戸、敦賀、岐阜、名古屋、飯田、甲府、津、浜松、東京、**横浜**、境、浜田、京都、彦根、下関、呉、神戸、大阪、和歌山、福岡、大分、長崎、熊本、鹿児島、宮崎、松山、多度津、高知、徳島、名瀬、石垣島、那覇

— 長期変化傾向 — 5年移動平均

**一方で、雨の降らない日が増えている**  
(全国平均で100年あたり約9日、横浜で約8日)

降水現象が極端化している！なぜ？

筒が太くなる（空気中にためられる水の量が増える）



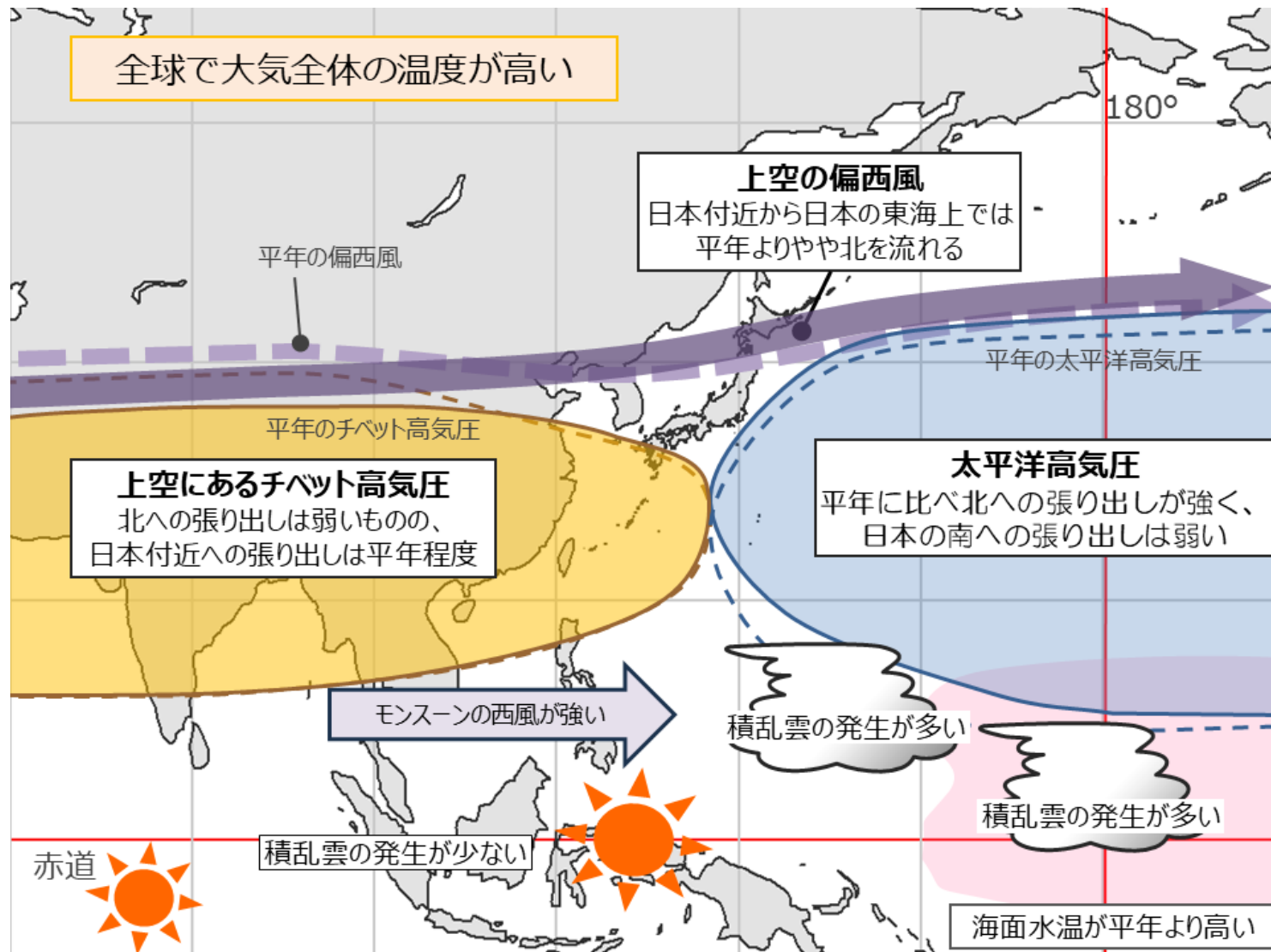
傾くまでに時間がかかる→雨の降る日の減少  
傾いたときにこぼれる水の量が増える→大雨の増加

# 今年の6月～8月の3か月予報

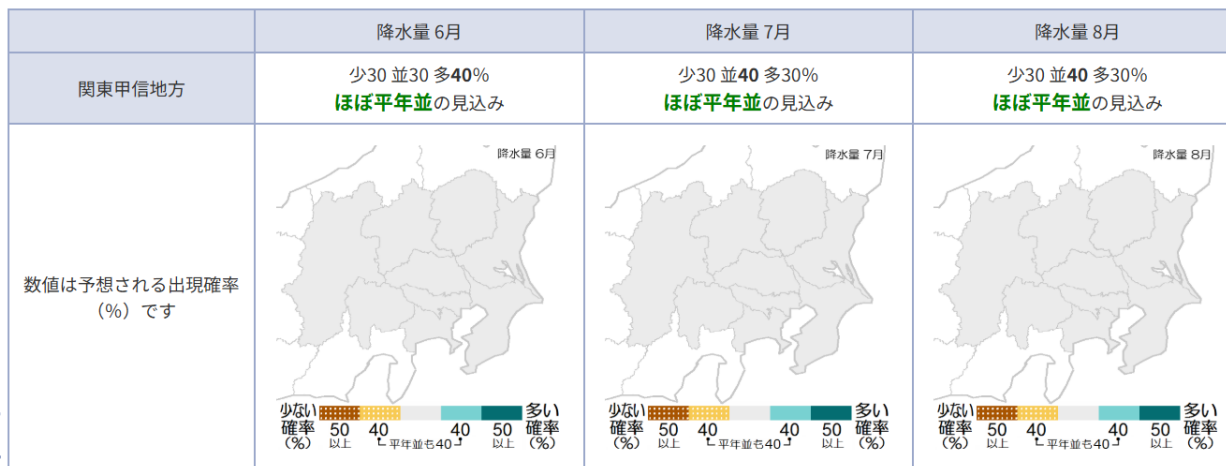
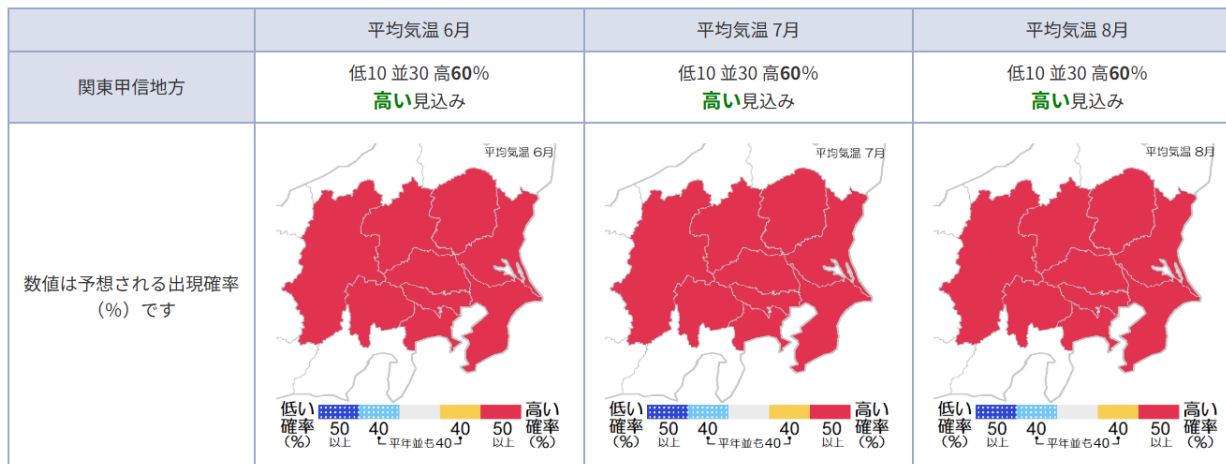
横浜地方気象台



# 6月～8月の気象の傾向



# 関東甲信地方の3か月予報（6月～8月）



## 月別の天候

- |    |                                                                                                        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。</li> </ul>                                 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</li> </ul> |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</li> </ul>                                   |

# 災害の事前の備えについて

横浜地方気象台



## ●災害とは素因・誘因との組み合わせ

素因

その土地が持っている災害にかかわる性質  
(地形, 地質, 気候, 人口など)



誘因

災害を発生させる直接的な引き金  
(大雨, 暴風, 大雪)



災害

災害は、素因に誘因が加わることで発生  
(+人間社会(行動)との接点で)

災害を防止あるいは軽減のためには、  
素因と誘因それぞれの面からのアプローチが考えられる

## 素因

その土地が持っている災害にかかわる性質  
(地形, 地質, 気候, 人口など)

## ・ハザードマップ等で身の回りの災害リスクを知る



最近は  
アプリで見られるものも

- ・ 地域における過去の災害記録や
- ・ 災害遺構なども

**土砂災害の危険性？ 洪水害・浸水害の危険性？**



伊勢原市公開型地理情報システム  
**いせはら Web Maps**

洪水・土砂災害ハザードマップ  
マップ切替

入力例:伊勢原市田中など 検索

探す 測る 狭く ルート

主題レイヤ

表示切替 全て選択 全てはずす

- 土砂災害警戒区域 (急傾斜)
  - レッドゾーン
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜)
  - イエローゾーン
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
  - レッドゾーン
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
  - イエローゾーン

洪水・浸水想定

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 洪水浸水想定区域 (想定最大)
  - 0.0m以上0.5m未満
  - 0.5m以上1.0m未満
  - 1.0m以上3.0m未満
  - 3.0m以上5.0m未満
  - 5.0m以上
- 洪水浸水継続時間 (想定最大)
  - 12時間未満
  - 12時間以上~1日未満
  - 1日以上~3日未満
  - 3日以上~1週間未満

住所一覧から検索

目標物・施設一覧から検索

現在地 伊勢原市東富岡 付近

中心十字切替

1/5000

# 誘因

災害を発生させる直接的な引き金  
（大雨、暴風、大雪）

## ・ 防災気象情報を活用して早めの安全確保行動



横浜地方気象台ホームページの「あなたの街の防災情報」を開くと、自治体ごとの防災情報を一覧で見ることができます。



<「あなたの街の防災情報」を選択>

### あなたの街の防災情報

地域の防災力向上を支援するため、**県や市町村、企業等の防災担当者向け**に気象台（気象庁）が発表する防災情報をワンストップで一覧できるページを作成しました。

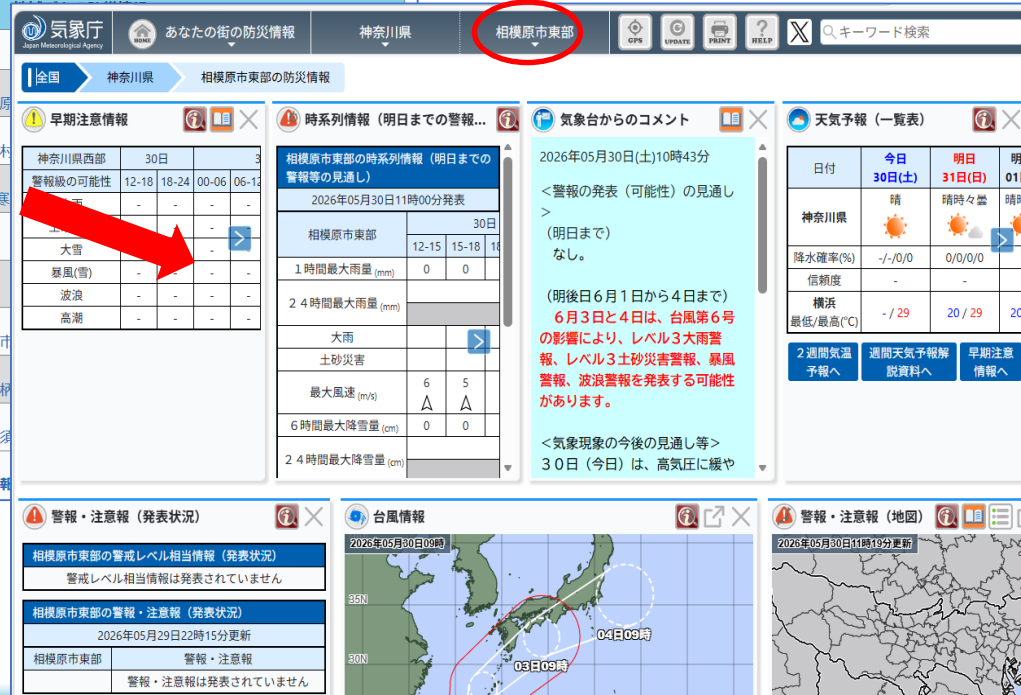
本情報は、各地域の災害特性を踏まえカスタマイズしたもので、**自然災害の状況監視**に通り、気象台からのコメント、警報・注意報の見通しなどの確認もできます。

**災害が予測されるもしくは、災害発生時**には、これらの情報を確認して、防災対応などにご活用ください。「強い雨が降り続けている」、「キキクルで赤や紫などの表示が出た」、「地震が発生した」、「津波の情報が発表された」、「火山が噴火した」などの場合には、それぞれの**詳しい情報**を別途ご確認ください。一般の方も利用していただき、災害を防ぐための状況把握や避難判断などにもお役立てください。

地域	【あ行】
県全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>【あ行】 斐川町、厚木市、綾瀬市、伊勢原市</li> <li>【か行】 開成町、鎌倉市、川崎市、清川村</li> <li>【さ行】 相模原市西部、<b>相模原市東部</b>、寒川町</li> <li>【た行】 茅ヶ崎市</li> <li>【な行】 中井町、二宮町</li> <li>【は行】 箱根町、秦野市、葉山町、平塚市</li> <li>【ま行】 松田町、真鶴町、三浦市、南足柄市</li> <li>【や行】 山北町、大和市、湯河原町、横浜</li> </ul>

※より詳しい防災情報は、【気象庁HP】防災情報

<相模原市東部を選択>



相模原市東部の時系列情報 (明日までの警報等の見通し)

2026年05月30日11時00分発表

相模原市東部	30日	
	12-15	15-18
1時間最大雨量 (mm)	0	0
2.4時間最大雨量 (mm)		
大雨		
土砂災害		
最大風速 (m/s)	6	5
	△	△
6時間最大降雪量 (cm)	0	0
2.4時間最大降雪量 (cm)		

気象台からのコメント

2026年05月30日(土)10時43分

<警報の発表（可能性）の見通し>

(明日まで)

なし。

(明後日6月1日から4日まで)

6月3日と4日は、台風第6号の影響により、レベル3大雨警報、レベル3土砂災害警報、暴風警報、波浪警報を発表する可能性があります。

<気象現象の今後の見通し等>

30日(今日)は、高気圧に緩や

警報・注意報 (発表状況)

相模原市東部の警戒レベル相当情報 (発表状況)

警戒レベル相当情報は発表されていません。

相模原市東部の警報・注意報 (発表状況)

2026年05月29日22時15分更新

相模原市東部 警報・注意報

警報・注意報は発表されていません

台風情報

2026年05月30日09時

03日09時 04日09時

警報・注意報 (地図)

2026年05月30日04時18分更新

# あなたの街の防災情報 (表示例)



気象庁 あなたの街の防災情報 神奈川県 市町村選択

全国 神奈川県 神奈川県 神奈川県

天気図 気象衛星ひまわり 台風情報 気象台からのコメント

天気予報 (一覧表) 早期注意情報 気象情報

日付	今夜 02日(土)	明日 03日(日)	明後日 04日(月)	05日(火)
神奈川県	雨後曇	晴	晴	曇時々晴
降水確率(%)	+/-/70	10/0/0	10	30
偏西風				A
積乱				
最低・最高気温	-/-	16/22	14/23	15/21

神奈川県東部	2日	3日	4日	5日	6日	7日
警報発の可能性	18-24	00-06 06-12 12-18 18-24				
大雨	[高]					
暴風(雷)						
波浪						
高潮						

神奈川県西部	2日	3日	4日	5日	6日	7日
警報発の可能性	18-24	00-06 06-12 12-18 18-24				
大雨	[高]					
暴風(雷)						
波浪						
高潮						

大雨危険度 土砂キキクル (危険度分布) 浸水キキクル (危険度分布) 洪水キキクル (危険度分布)

地震情報 (一覧表) 地震解説資料 津波

神奈川県東部	2日	3日
大雨(浸水)	50	50
大雨(土砂災害)		
浸水		
陸上	12	12
海上	18	15
波浪	9	9
雷	2.5	2.5

指定河川洪水予報

神奈川県西部	2日	3日
大雨	18-21 21-24	00-03 03-06 06-09 09-12 12

雨雲の動き 降り始めからの降雨量 アメダス (地図) 今後の予

令和6年(2024年)11月2日  
19時頃の「神奈川県」を  
選んだ場合の表示例

大雨危険度 土砂キキクル (危険度分布) 浸水キキクル (危険度分布) 洪水キキクル (危険度分布)

地震情報 (一覧表) 地震解説資料 津波

地震発生日時	震源地	深さ	マグニチュード	最大震度	対象向市町村の最大震度
2024年10月30日15時14分	茨城県南部	50 km	4.0	震度1	震度1
2024年10月26日06時20分	埼玉県南部	60 km	3.9	震度2	震度2
2024年10月16日17時55分	茨城県南部	50 km	4.3	震度3	震度2
2024年10月14日19時46分	千葉県北西	170 km	4.5	震度4	震度4

火山解説資料

火山解説資料 (定期版)	発表時刻	火山解説資料 (定期版)	火山解説資料 (定期版)
1	2024年10月08日14時00分	火山解説資料 (定期版)	横浜地方気象台
2	2024年09月09日14時00分	火山解説資料 (定期版)	横浜地方気象台



皆さんがどのような方法で  
各種防災情報入手することが出来るか  
今一度ご確認を!!

広報車



防災無線



携帯電話



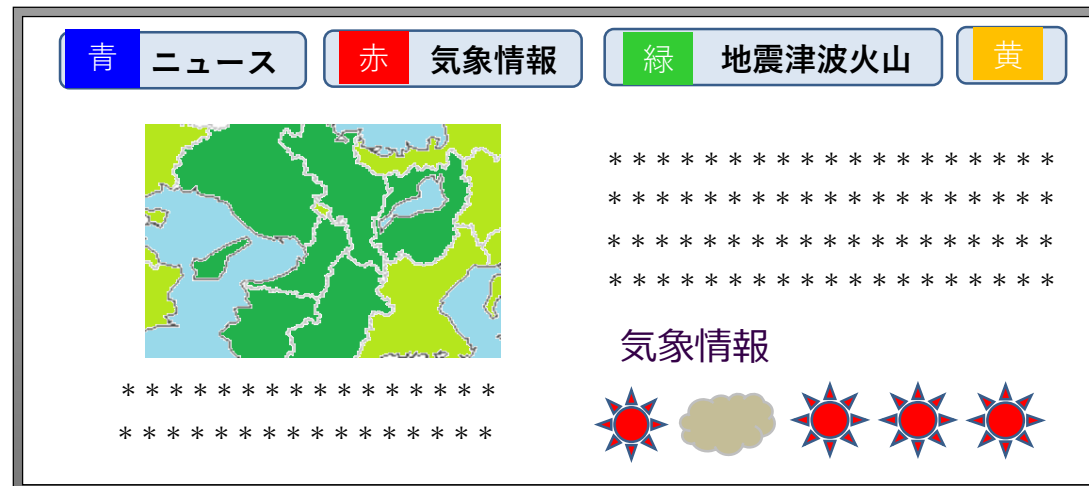
ラジオ



パソコン (WEBページ)



テレビ



テレビのリモコンの「d」ボタンを押して、気象情報をチェック


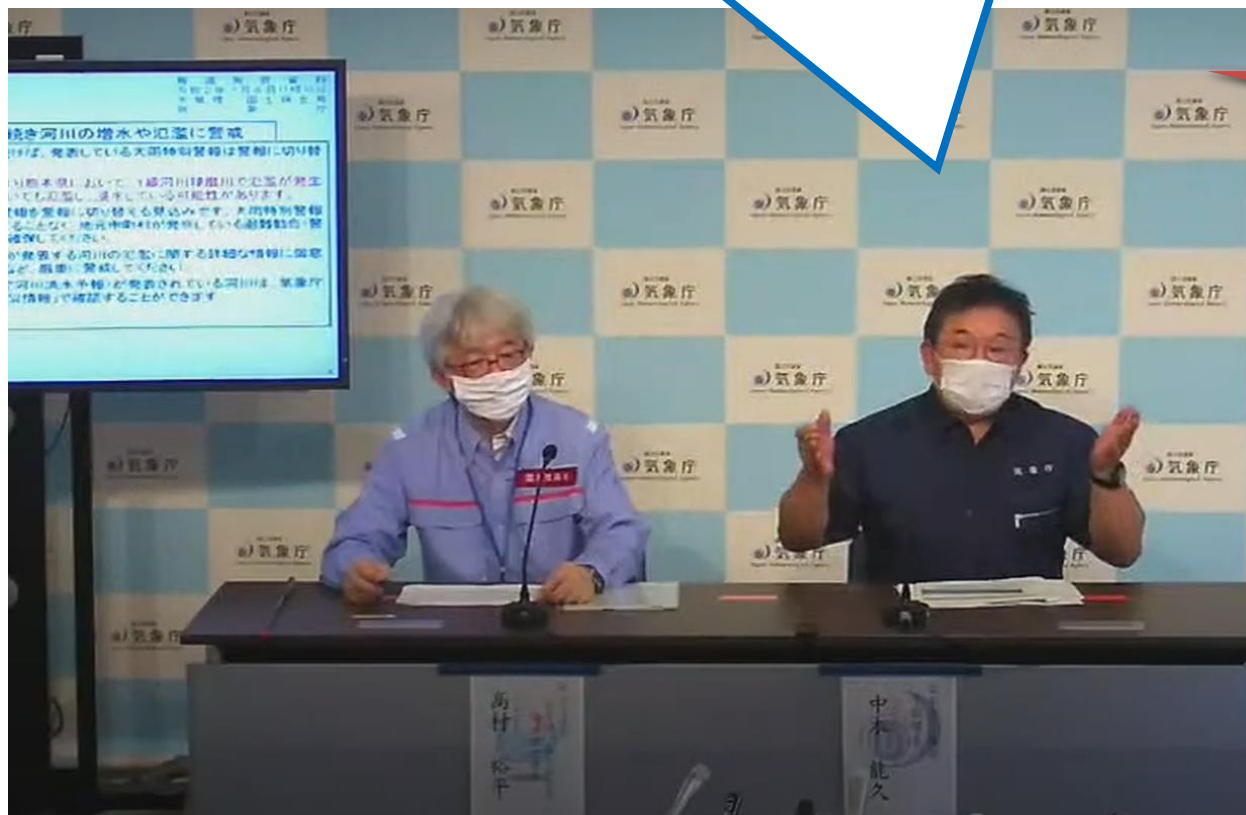
## 大気の状態が不安定



天気予報で顕著な現象が予想される場合は、キャスターが枕詞をつけて注意喚起します。

- ・大気の状態が不安定
- ・荒れた天気
- ・大雨
- ・等

大雨による災害発生危険度が高まるおそれがある



大規模な水害が予見される場合などでは、気象庁が緊急に記者会見、あるいは国土交通省と合同で記者会見を開く場合があります。

- ・災害発生危険度が高まる
- ・厳重に警戒
- ・

## 避難となる前に



避難場所の  
確認



災害に備えた  
食料の確保



避難訓練に参加



防災グッズの確認

災害時にはSNSでデマ（うそ情報）が増えるので、  
国や市町村などの公の機関の情報を選ぶことが大切



**SNS**

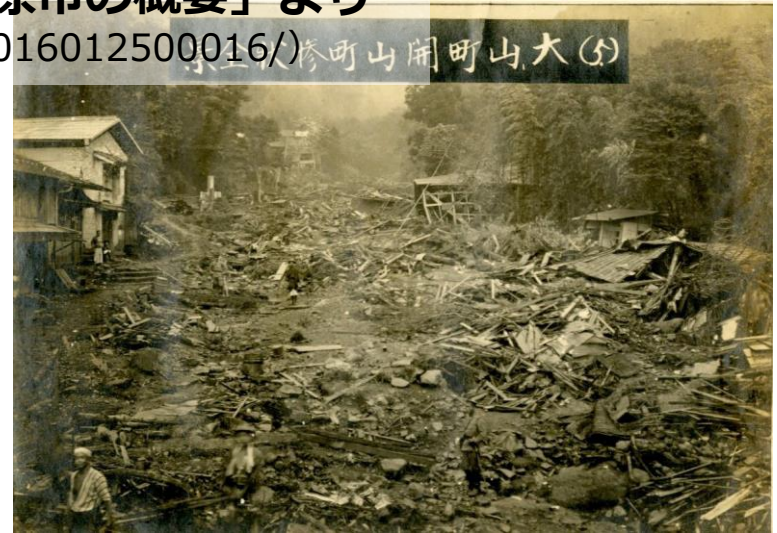


- ✓ 警戒レベル（赤・紫・黒）と避難行動が対応
- ✓ 要配慮者はレベル3（赤）の段階から行動
- ✓ 災害前の備えが重要、自分の周りのリスクを知る
- ✓ 早めの行動のために、段階的に発表される防災気象情報を利用して災害リスク低減

## ○伊勢原市文化財保存活用地域計画「第2章伊勢原市の概要」より

(<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/bunkazai/docs/2016012500016/>)

- 大正12年（1923年）9月1日に起こった関東大震災では、死者128人、負傷者129人、家屋の全壊1,615戸、半壊894戸、破損488戸という被害が発生。
- 更にその後、大山では大規模な山津波（土石流）が発生し、広範囲にわたり先導師旅館等140戸が押し流された。



## ○内閣府HP「特集 関東大震災から100年①～あの時その場所で何が起きていたのか～」

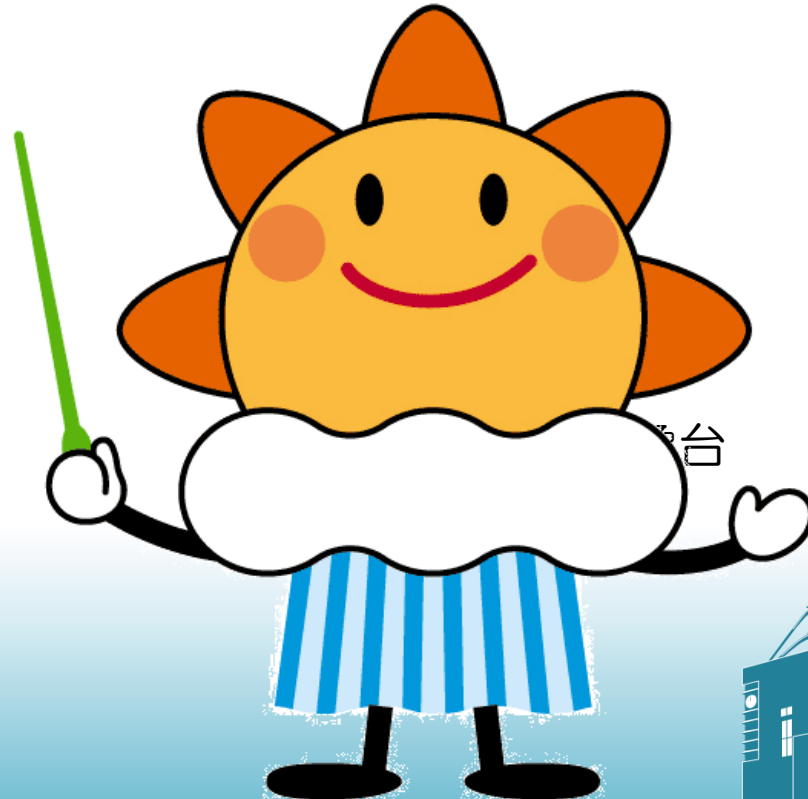
([https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/r04/106/special_02.html](https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/r04/106/special_02.html))

- 丹沢山中の大山の麓にあった坂本町（現在の伊勢原市大山町）では、地震発生から2週間後の9月15日、地震で緩んでいた山肌が大雨により崩壊、土石流となって鈴川沿いの集落を襲い、ほとんどの家が流失する惨事となった。
- しかし危険を察知した駐在巡査が直前に避難するように呼びかけたため、集落の住民は1人を除き救助されました。



発生を防ぐことは出来なくても、被害を防ぐ、減らすことはできます。

ご清聴ありがとうございました。



横浜地方気象台

# 参考

横浜地方気象台



# 最大風速と被害

平均風速  
20m/s  
以上

暴風警報基準  
25m/s



何かにつかまっていないと  
立ってられない。  
飛来物によって負傷するおそ  
れがある。



通常で速度で運転するのが困  
難になる。



屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの  
がある。固定されていないプレハブ小  
屋が移動、転倒する。  
ビニールハウスのフィルム(被覆材)  
が広範囲に破れる。

平均風速  
35m/s  
以上



屋外での行動は  
極めて危険。



走行中のトラックが  
横転する。



固定の不十分な金属屋根の葺材  
がめくれる。養生の不十分な仮  
設足場が崩落する。

# 表面雨量指数とは（大雨警報（浸水害）の基準）

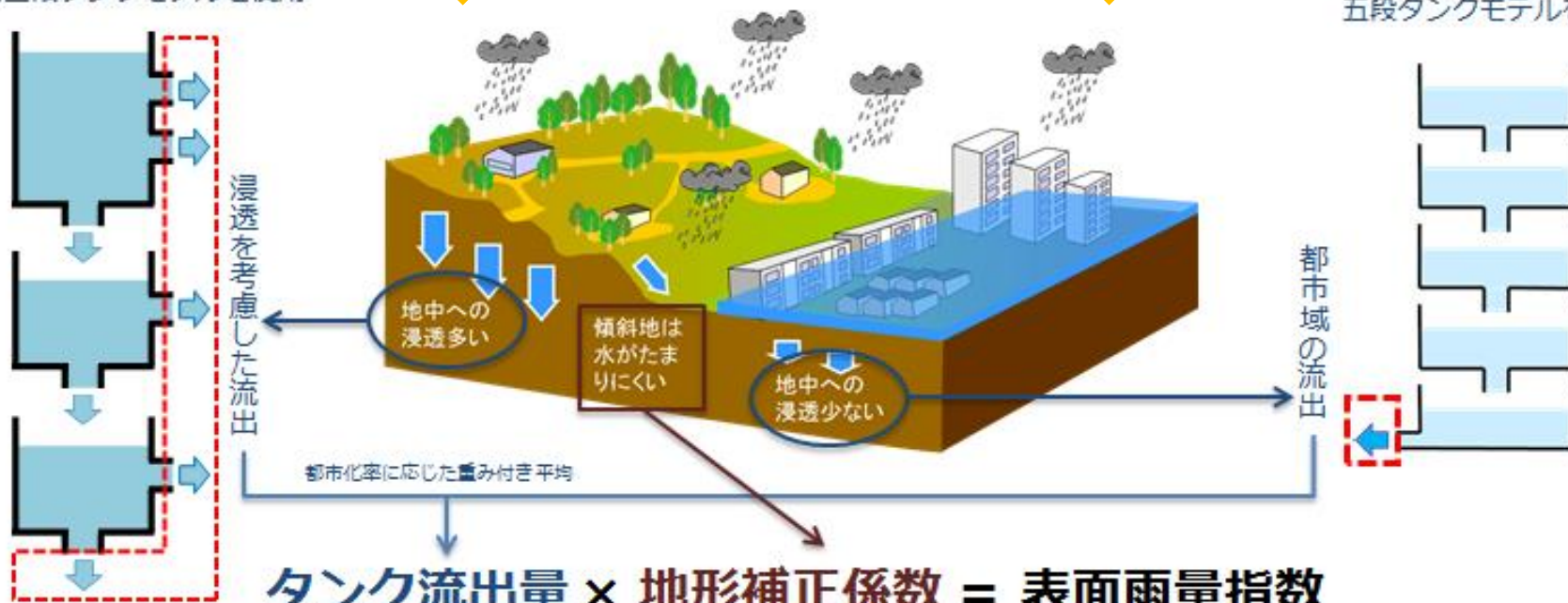
地面の被覆状況や地質、地形、勾配等の地理情報を考慮して、降った雨が地表面にどれだけ残っているかを**タンクモデル**の手法を用いて指数化したものです。

地中に水がしみこみやすい山地や水はけのよい傾斜地では雨水がたまりにくい

アスファルトに覆われた都市部や平坦で水はけの悪い場所では雨水がたまりやすい

非都市部  
直列三段タンクモデルを使用

都市部  
五段タンクモデルを使用

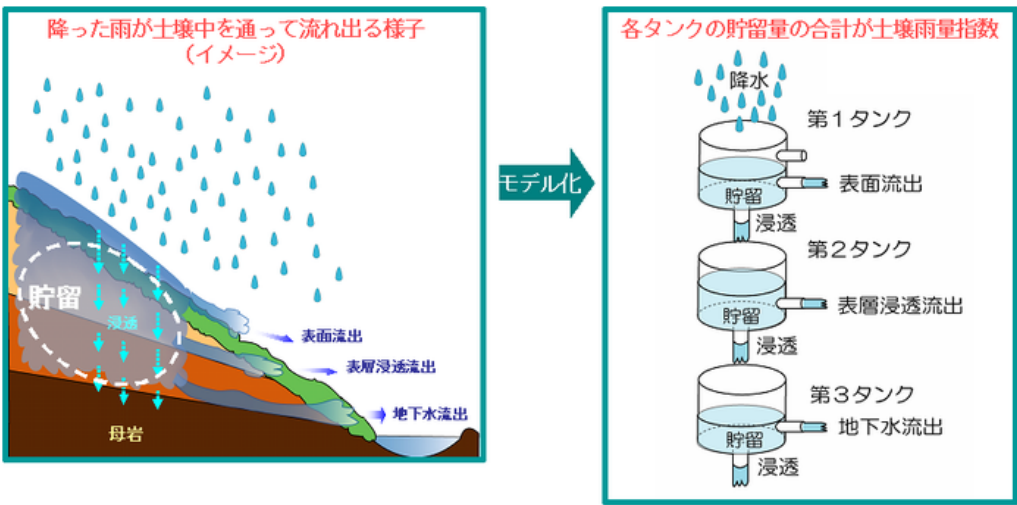


その場の表面流出流の強さ      傾斜でみた排水効率      その場で降った雨による浸水危険度

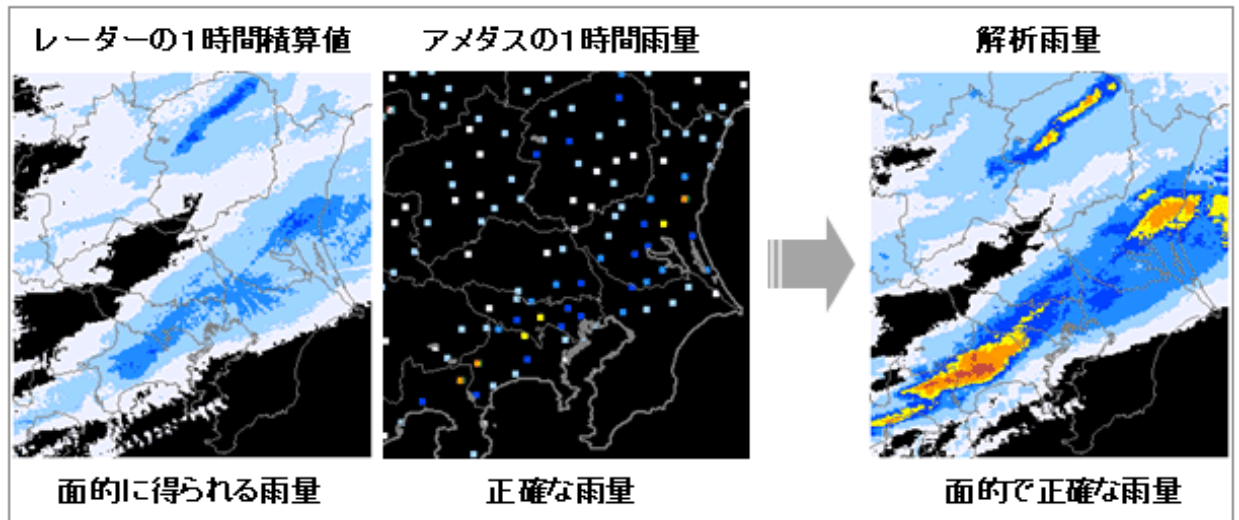
表面雨量指数の計算方法は気象庁ホームページに記載されています。

# 土壤雨量指数とは（大雨警報（土砂災害）の基準）

降った雨が土壤中に水分量としてどれだけ貯まっているかを、解析雨量をもとに**タンクモデル**の手法を用いて指数化したものです。



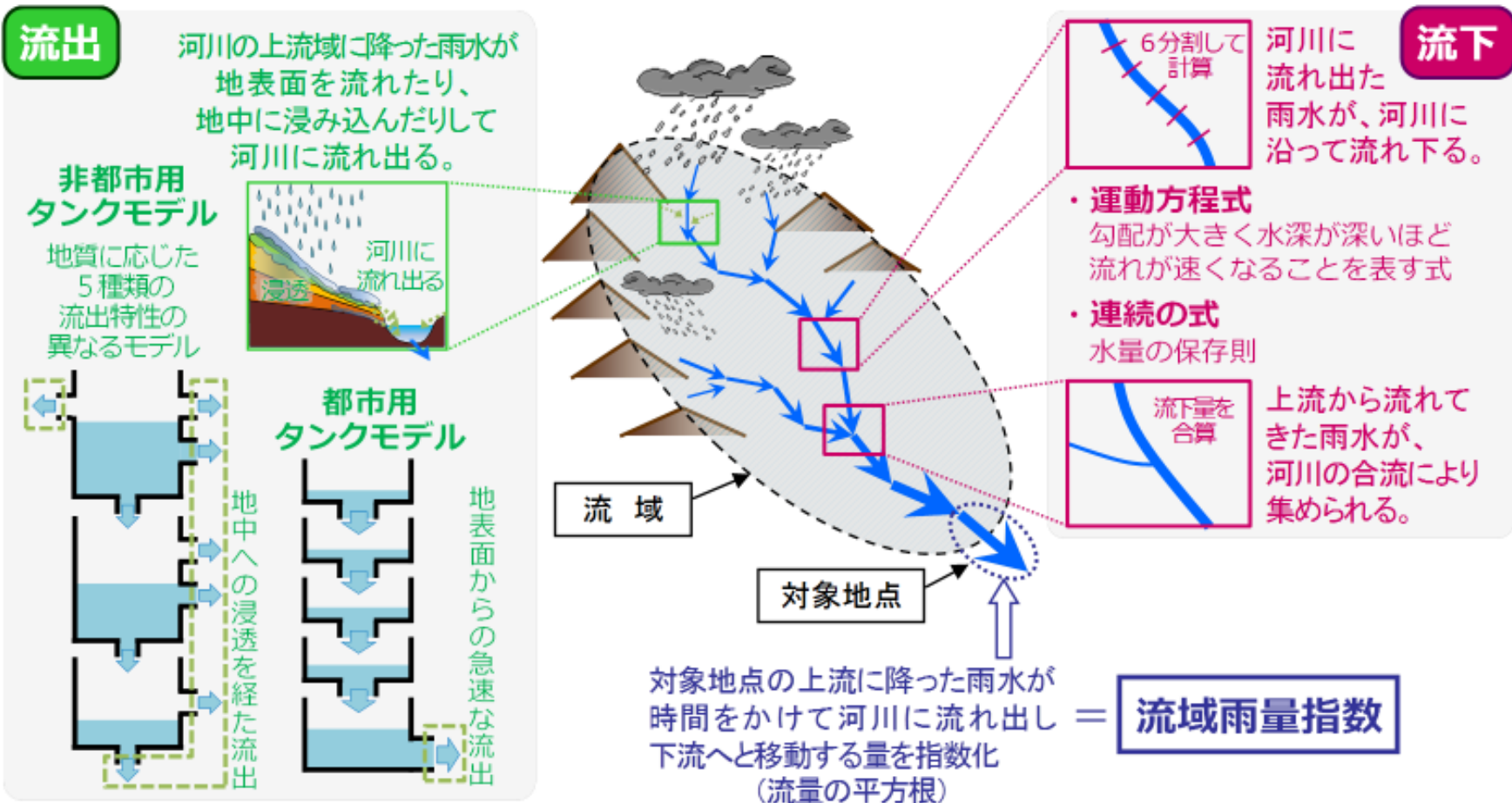
**解析雨量**・国土交通省と気象庁が設置しているレーダーと、アメダス等の地上の雨量計を組み合わせ、降水分布を1km四方の細かさで解析したものです。



土壤雨量指数の計算方法は気象庁ホームページに記載されています。

# 流域雨量指数とは（洪水警報の基準）

流域における流出量を計算し、さらに傾斜に沿って集まる水の量を指数化したものです。上流域に降る雨の量や流下による時間差を考慮していますが、川の水位との整合性はありません。

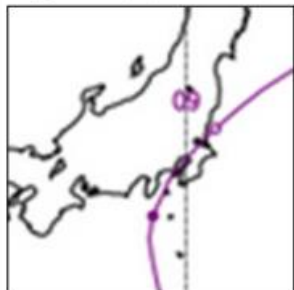


# (参考) 神奈川県に影響のあった台風事例 (大雨)

## 台風が神奈川県を通過した場合

### 【相模湾を北上】

[過去事例:2019年台風第15号]

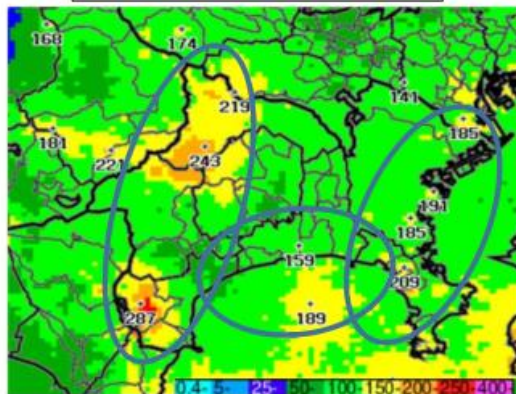


相模湾を北上して神奈川県を通過した場合、**西部山地と沿岸部**で雨がまとまって降りやすい。また、風は通過後が最も強く吹く。

台風第15号フクイ経路図

(9月9日3時前に三浦半島付近を通過)

アメダス横浜 9月9日の最大値  
平均風速 23.4m/s (風向:北)  
瞬間風速 41.8m/s (風向:北)



解析積算雨量(9月8日8時から9日8時)

### 【静岡県から進入】

[過去事例:2019年台風第19号]

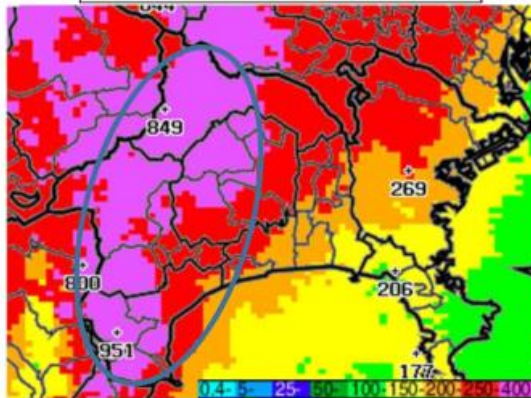


静岡県から台風が進んでくる場合、台風接近前から台風周りの雨雲によりまとまって雨が降る。その後は、台風本体の降水が続く。そのため、**西部山地中心**にまとまって雨が降りやすく、平地でも山地に次いでまとまって降る。

台風第19号ガビス経路図

(10月12日19時前に伊豆半島に上陸)

アメダス横浜 10月12日の最大値  
平均風速 23.8m/s (風向:南南東)  
瞬間風速 43.8m/s (風向:南南東)



解析積算雨量(10月11日21時から12日21時)

### 【伊豆半島を北上】

[過去事例:2007年台風第9号]

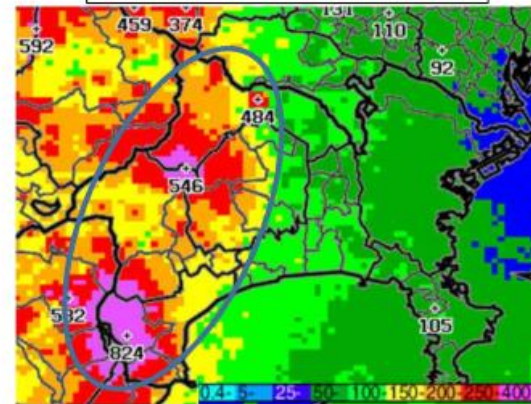


伊豆半島を北上した場合は、**西部(特に山地)**がまとまって降りやすい。

台風第9号フィットウ経路図

(7日00時前に伊豆半島南部に上陸)

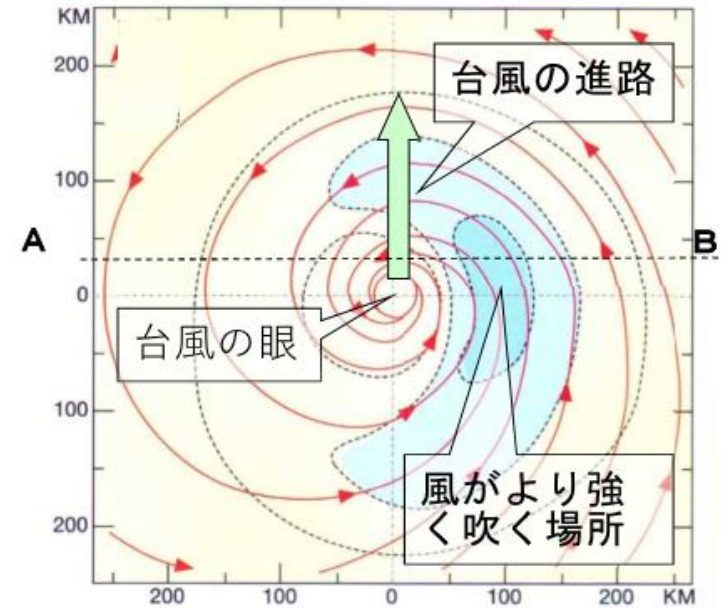
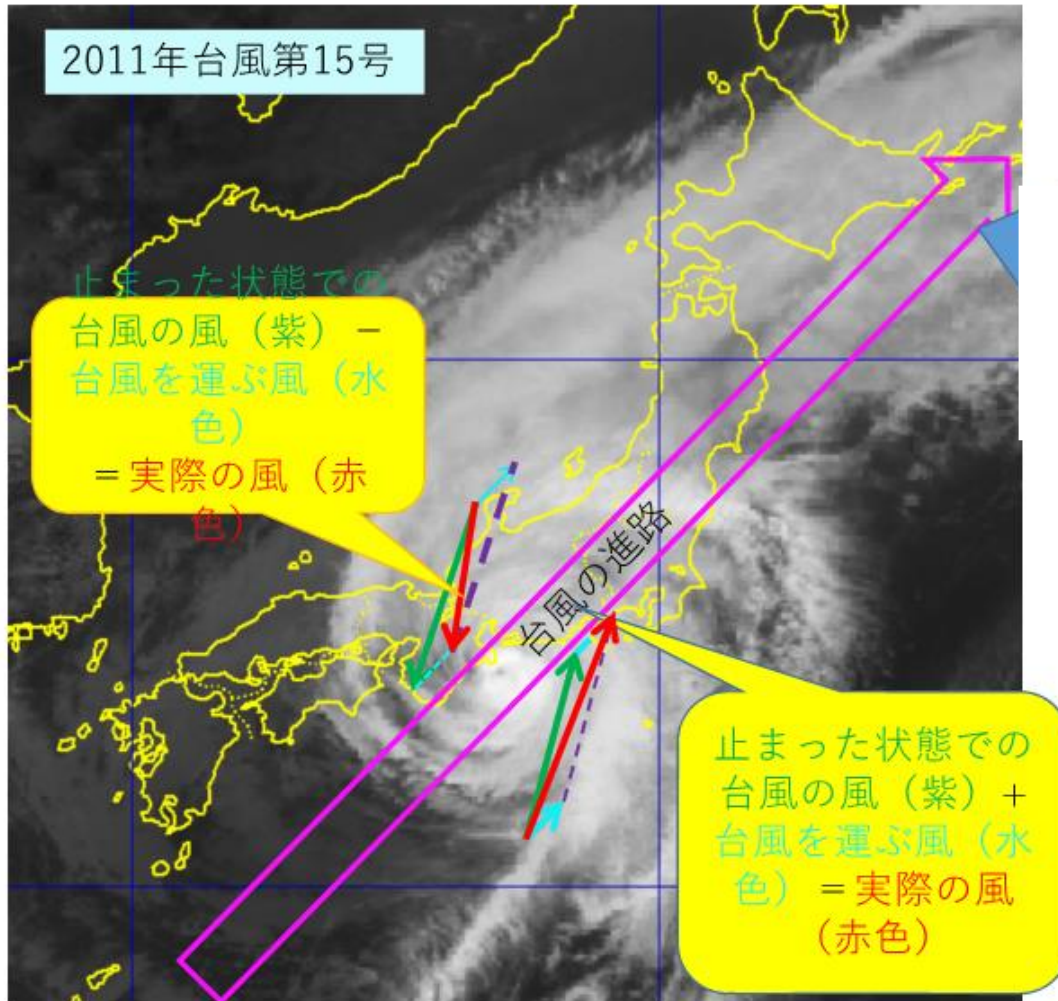
アメダス横浜 9月7日の最大値  
平均風速 16.8m/s (風向:南南東)  
瞬間風速 36.9m/s (風向:南南東)



解析積算雨量(9月6日5時から7日5時)

# (参考) 神奈川県に影響のあった台風事例 (暴風)

- 神奈川県に暴風をもたらした台風の事例。
- 2012年第17号、2012年第4号、2011年第15号、2009年第18号が、このコースを進み、神奈川県は北東に進む台風の中心から見て南東側に位置した。



一般的な台風域内の  
風の特徴と合致

# 参考 関連ホームページ



気象庁ホームページの「知識・解説」フォルダには、eラーニングのほかにも「災害から身を守る」コンテンツが掲載されています。ぜひご覧ください。

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ENGLISH Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 YouTube 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 **知識・解説** 各種申請・ご案内

気象庁ホーム > 知識・解説

## 知識・解説

### 全般

- > よくお寄せいただくご質問
- > 特別警報について
- > 気象庁情報カタログ

### 災害から身を守る

- > 防災気象情報と警戒レベル
- > 台風や集中豪雨から身を守る
- > 地震から身を守る
- > 防災関連ビデオ
- > eラーニング  
「大雨のときにどう逃げる？」
- > 安全知識の普及啓発に関する取組
- > 「危険度分布」の通知サービス
- > 急な大雨や雷・竜巻から身を守る
- > 津波から身を守る
- > 防災教育に使える副教材・副読本
- > 気象庁ワークショップ  
「大雨、その時どうする？」
- > 気象の専門家向け資料集
- > 「新たなステージ」の防災気象情報
- > 熱中症から身を守る
- > 大雪や暴風雪に関する最新の情報
- > あなたのまちに気象防災アドバイザーを！
- > 気象防災ワークショップ  
(地方公共団体防災担当者向け)
- > 気象庁の線状降水帯の予測精度向上、地域防災力向上への取組

# 参考 神奈川県内のアメダス



海老名  
地域気象観測所



辻堂  
地域気象観測所



平塚  
地域雨量観測所

シンボル	観測所の種類/観測要素
■	気象台 気温・降水量・風向風速・日照時間・積雪深・湿度・気圧
■	地域気象観測所 (アメダス) 降水量
■	地域気象観測所 (アメダス) 気温・降水量・風向風速・日照時間 (推計)・湿度

## アメダス (AMeDAS)

Automated Meteorological Data Acquisition System

気象資料自動収集装置 (地域気象観測システム)